

ARCHISS
TENKEYLESS

Quattro TKL

ARCHISS QUATTRO TKL
MECHANICAL POINTING STICK TENKEYLESS KEYBOARD

取扱説明書

本紙に記載された内容は製品や OS のバージョンによって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性があります。付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。

	危険	死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。
	警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
	注意	軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。

気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 危険

- ❶ 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- ❷ 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- ❸ 本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ❹ 各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- ❶ 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ❷ 本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ❸ 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ❹ 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ❺ 濡れた手で本製品に触らないでください。
- ❻ 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- ❼ プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ❽ ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- ❾ 製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⓫ 各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⓬ 各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

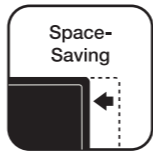
- ❶ 静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- ❷ 動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- ❸ 以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 - 強い磁界が発生するところ
 - 火気の周辺や熱のこもるところ
 - 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- ❹ 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ❺ 本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- ❻ コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ⓫ 使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

特徴・機能について



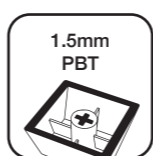
ポインティングスティック搭載

感度の良い、静電容量式のポインティングスティックを搭載し、ホームポジションから手を離さずに、マウスカーソルの操作が可能です。左右マウスボタン機能は、スペースキーの両隣に割当られており、親指での操作を想定しています。



デスクトップ上をよりスマートに！

フルキーボードからテンキーを省いた省スペース設計。ポインティングスティックを搭載したことにより、デスクトップ上のスペースをさらに有効活用できます。



1.5mm の肉厚キーキャップ 高級感ある風合いが魅力の PBT

キーキャップの材質には、耐摩耗性・電気特性に優れた PBT (ポリブチレンテレフタレート) 樹脂を採用し、天面には、シルキーな指触りの梨地表面加工を施しています。標準的なキーキャップよりも約 0.5mm 厚手の為、しっかりとした打鍵感を味わえます。



磨耗に強い昇華印刷採用

キー印字方式は、昇華印刷を採用。(キーキャップ天面のみ) インクを浸透させるため、他の印刷方式に比べ、長時間の使用による文字の薄れがなく、耐摩耗性に非常に優れた印刷です。

その他の機能

ケーブル着脱式 ステップスカルプチャー構造

ケーブル 3 方向取り回し構造 キー同時押し数切り替え機能

パッケージ内容

- ・キーボード本体 … 1 台
- ・ユーザーマニュアル 兼 保証書 (本紙) … 1 部
- ・USB ケーブル (USB A ⇄ Mini B) … 1 本
- ・キー引き抜き工具 (プラスチック製) … 1 個
- ・ポインティングスティック用交換 / スペアキャップ [※オレンジ色 / 凸型 1 個は、キーボード搭載済み]
- ・オレンジ色キャップ … 凸型 1 個・凹型 2 個
- ・紫色キャップ … 凸型・凹型 各 2 個
- ・交換用キーキャップ各種
- ESC キーキャップ (通常フロント) … 1 個
- CapsLock (段差有 /LED 窓無) キーキャップ … 1 個
- Ctrl (段差有 /LED 窓無・段差無 /LED 窓有) … 各 1 個 (DIP1 ON 時利用)
- CapsLock キーキャップ … 1 個 (1.25U サイズ・DIP1 ON 時利用)
- 無変換・変換キーキャップ … 各 1 個 (※日本語配列モデルのみ)

注意 ご使用の前に、内容物がすべて揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万が一不足品、破損品がありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

製品仕様

キー配列 / キー数	日本語 JIS / 91 キー (※無変換・変換キーは、左右マウスボタンと切り替え) 英語 US ANSI / 89 キー (※標準 87 キー + 左右マウスボタン)
搭載キースイッチ	CHERRY MX スイッチ
キーピッチ	19mm
キーストローク	■静音赤軸 : 3.7 (-0.4) mm ■茶軸・青軸・赤軸 : 4.0 (-0.4) mm
インターフェース	USB
コネクタタイプ	USB Mini-B
キーロールオーバー	6 キー /N キーロールオーバー
キー印字方式	天面 : 昇華印字 / 斜面 : シルク印字
キーキャップ材質	PBT (ポリブチレンテレフタレート)
対応機種	USB ポートを装備した PC/AT 互換機
対応 OS	Windows 11、Windows 10
電源供給方式	USB ハスパワー
動作環境	温度 5 ~ 50℃ / 湿度 10 ~ 60% (但し、結露なきこと)
本体寸法	W 360mm x D 140mm x H 26 ~ 36mm (スタンド未使用時)
重量	975g (ケーブル含まず)

Microsoft Windows は米国マイクロソフト社及びその他の国における登録商標です。Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.

■健康に関する注意点

- ・キーボードの使用により、身体的な障害が生じる可能性があります。長時間のご使用は、手や腕、首や肩、腰への負担が大きくなります。不快感・舌痛・鈍痛・痺れ・うすき・筋肉の硬直などの身体症状が生じた場合には、直ちにキーボードの使用を中止してください。また、定期的に休息をとるようにしてください。なお、身体に感じる症状は、使用時・操作時以外でも発生します。体調がよくないときは、長時間の操作をお控えくださいますようお願い致します。

■安全に関する注意点

- ・キーボード本体の落下などにより思わぬ事故となる場合があります。設置する場所は平らで滑らない場所をお選びください。
- ・キーボードは精密機械であり、内部に変圧装置を含みます。飲み物などの水分が内部に侵入しないようお取り扱いに十分ご注意ください。万が一、液体物が侵入した場合は、直ちにご使用を停止してください。
- ・分解、改造はしないで下さい。怪我や感電などの恐れがあります。また保守用ラベルをはがすなど、分解や修理、改造の痕跡が見られた場合、故障時の保証の対象外となります。
- ・コネクタはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

■メカニカルキーボードの使用環境に関する注意点

- ・CHERRY MX スイッチは、防水仕様ではありません。飲み物などの水分が混入しますと、基板や IC の不具合を起こすだけでなく、スイッチが破損し、使用できなくなる場合があります。
- ・CHERRY MX スイッチは、防塵仕様ではありません。内部にスイッチ接点があり、ゴミやホコリが混入・付着すると入力誤動作 (二重入力など) を起こします。プロアーなどを使用し、定期的な清掃を行うことを推奨致します。
- ・特に喫煙環境下でご使用頂きますと、タバコのヤニが接点に付着したり、タバコの灰が混入し、スイッチが誤動作 (二重入力など) を起こします。

■パソコンに接続する際の注意点

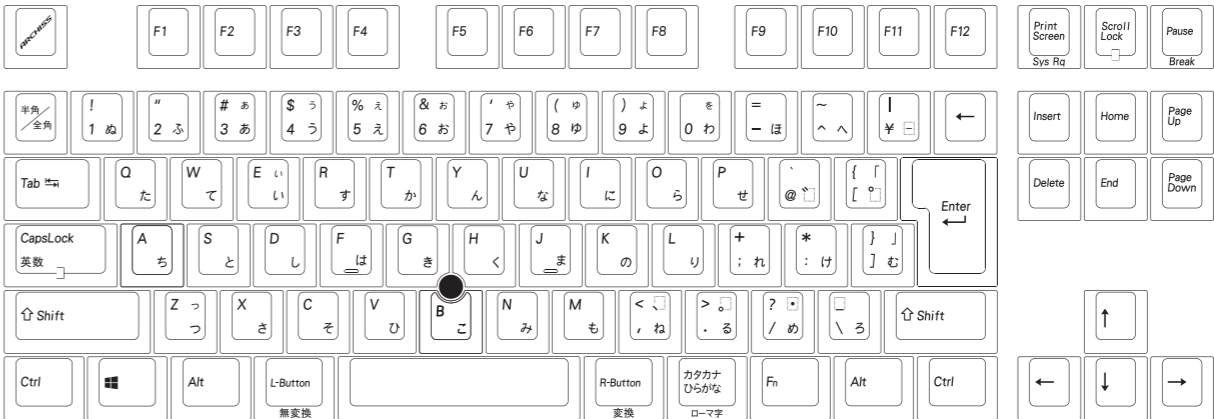
- ・USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。USB3.0 ポートへ接続した際、PC 側の仕様により認識しない場合があります。USB3.0 ポートのみ有する PC で使用する際は、UEFI/BIOS の設定変更が必要な場合があります。変更方法は、各 PC メーカー・マザーボードメーカーにご確認ください。
- ・USBハブ経由で使用の際は、電源供給能力により本製品が動作しない場合があります。
- ・セットアップ作業を行う際は、管理者権限を持つユーザーでログインして下さい。
- ・本製品はホットプラグに対応しています。OS が起動した状態でも、着脱可能です。
- ・OS の起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合があります。このような場合は、OS を再起動してください。

販売元

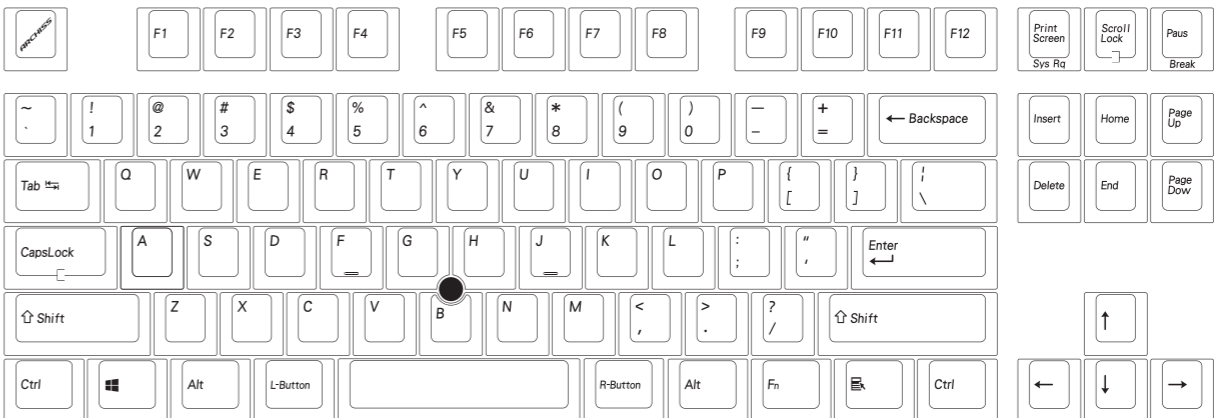
株式会社 **アーキサイト**
〒110-0006
東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル
URL : http://www.archisite.co.jp
サポートダイヤル : 03-6859-0284
受付時間 10:00~12:00・13:00~17:00
(弊社指定定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

キー配列図

日本語 JIS モデル 配列図



英語 US ANSI モデル 配列図



ポインティングスティックの特長・操作方法

- ・高感度な静電容量式ポインティングスティック
静電容量式の2次元センサを搭載し、微小な荷重変化を検出します。

- ・凹凸両方のキャップを用意
専用開発したポインティングスティックキャップは交換が可能です。膨潤に強いエラストマー（TPE）樹脂を採用し、プラスチックでありながらゴムのような柔らかさをもつ質感で、指に優しく操作性をより快適にします。撫でるような操作に最適な“凸型”、より指先へのフィット感を重視した“凹型”、2つの形状を用意しており、好みに合わせて付け替えが可能です。また、汚れや破損に備えて、スペアキャップも付属しています。

【操作方法】

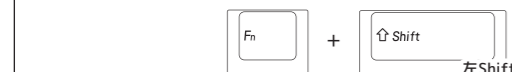
マウス左右ボタンの操作

スペースキーの両側“L-Button(マウス左ボタン)”“R-Button(マウス右ボタン)”を設けています。操作方法は、通常のマウスボタンと同様です。例えば、ファイルをドラックして、移動する場合は、ポインティングスティックで対象のファイルの上にカーソルを移動し、“L-Button”を押し続けると、ドラックすることができます。



マウス中央ボタンの操作

マウス中央ボタンは、単独のキーを設けていません。Fn+左Shiftの同時押しで操作可能です。



垂直(縦)スクロールの操作

ブラウザ等での垂直(縦)スクロール操作は、Fnを押しながら、ポインティングスティックを垂直方向に動かすことにより、操作が可能です。水平(横)スクロールには対応していません。また、ソフトウェア/アプリケーション側の仕様により、垂直(縦)スクロールを使用することができない場合があります。

ポインティングスティックの動作に関する注意事項

- ・操作力と最大操作力
ポインティングスティックを操作する際に必要な力は、下記の通り規定しています。

- 操作力：0.098～0.98N(10～100g程度)
- 最大操作力：45N(250g程度)

必要とされる操作力を超えた負荷を、スティックに加えた場合、スティックの変形・故障だけでなく、筐体の破損を招きます。過度な力を加えないように使用してください。

- ・オートムービングとキャリブレーション機能について
ポインティングスティックの操作中、ごく稀にマウスカーソルが意図しない方向に動く場合があります。(オートムービング)
これは、ポインティングスティックに搭載されたキャリブレーション機能により、ポインティングスティック側の処理で、出力値を補正・調節している際に起こる現象です。オートムービングが発生した際は、一旦ポインティングスティックから手を放し、キャリブレーション終了(オートムービングが止まる)まで、ポインティングスティックの操作をしないでください。

- ◎キャリブレーション機能とは...
ポインティングスティックは、微小な静電容量値の変化を検出し、カーソルを移動させています。周囲環境(温度、電源電圧など)の変化に対応するため、原点補正(オフセット補正)するための機能です。

- △パソコンのOS起動時、スリープ・休止状態からの復帰時の注意
パソコンのOS起動時、スリープ・休止状態からの復帰時など、USBからの給電環境が変わるタイミングにおいても、オートムービングが発生する場合があります。

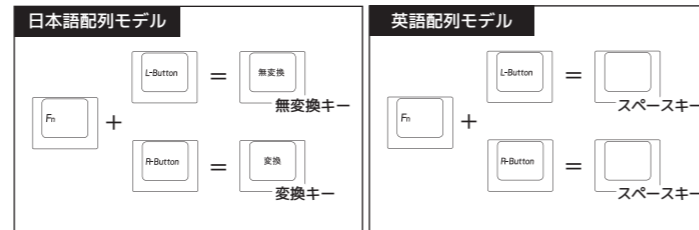
パソコンに接続した状態でOS起動する場合や、OSをスリープ・休止状態から復帰する場合は、起動後の表示画面にマウスカーソルが現れるまでは、ポインティングスティックに触れないようにしてください。この方法により、オートムービング現象を回避することができます。

- △オートムービングが止まらない/頻繁に発生する場合
ポインティングスティックに触らず、30秒以上経っても改善されない場合は、USBポートからの給電環境が不安定である可能性があります。

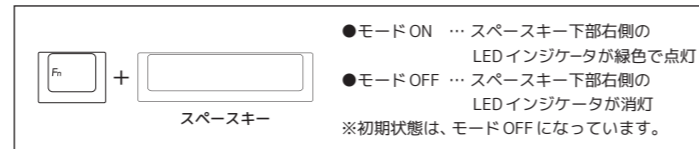
- ・USBケーブルを別のポートに差し替えてみる
- ・他のUSB機器を取り外してみる

左右マウスボタンの特殊機能と切り替え

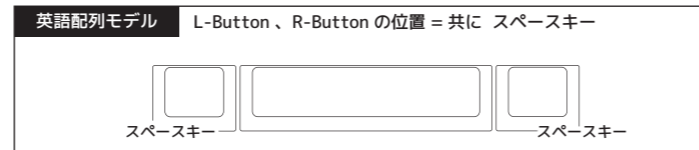
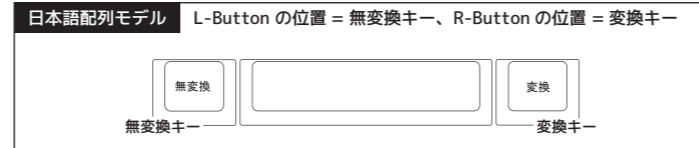
- ・Fnキーとマウス左右ボタンの同時押し操作
スペースキーの両側に“L-Button”“R-Button”を設けたことにより省略されたキーは、下記の操作で利用することができます。



- ・マウス左右ボタンの無効化・標準配列で配置されているキーへ切替
下記の方法で、マウス左右ボタンを無効化することができます。

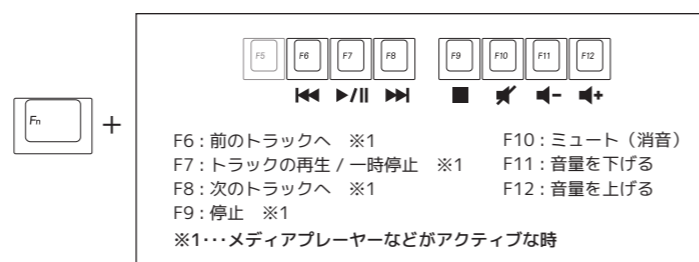


モードON時に、無効化されたマウス左右ボタンは、下記の通り動作します。



マルチメディアファンクション機能

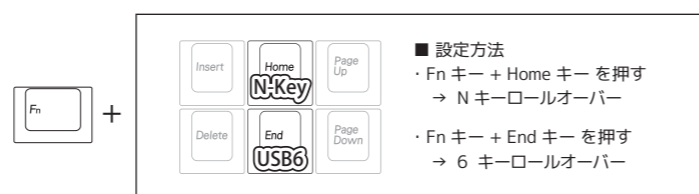
FnキーとF6～F12キーの押し合わせで、メディアプレーヤーなどでの動画や音楽の再生や停止、全体の音量調整などをキーボード上で操作可能です。



- ・ノートパソコンや各パソコンメーカー純正キーボードのFnキーと、当キーボードのFnキーの機能は異なります。各パソコンメーカーであらかじめ設定された特殊機能(ホットキー等)を、当キーボードのFnキーを用いて操作することはできません。
- ・お客様の環境により上記とは異なる動作になる場合があります。

USB接続時の同時押し可能キー数の設定変更

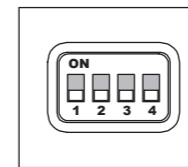
USB接続時の同時押し可能キー数を変更可能です。工場出荷時の設定は、最大6キー同時押しです。



- 設定方法
- ・Fnキー+Homeキーを押す → Nキーロールオーバー
- ・Fnキー+Endキーを押す → 6キーロールオーバー

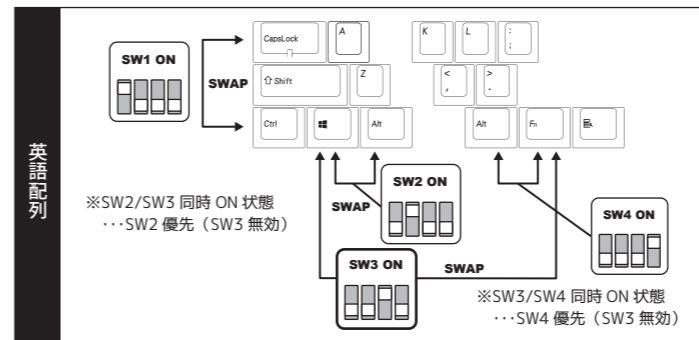
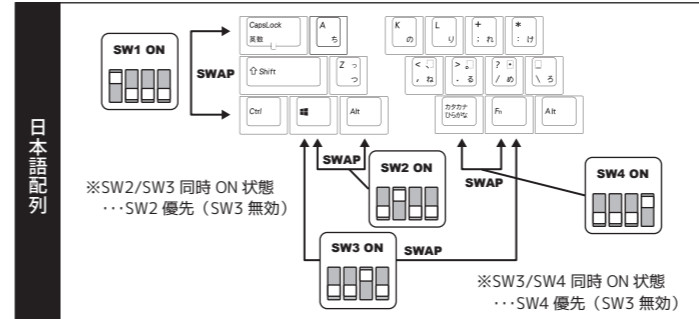
DIPスイッチの設定①

本体背面上部にDIPスイッチを搭載しています。DIPスイッチのON/OFFにより、各スイッチに割り当てられたキー機能変更設定を有効/無効にすることが可能です。工場出荷時は全てOFF(スイッチが下がっている)状態です。



■DIPスイッチの操作方法

1. キーボードをPCから外して下さい。
2. 爪楊枝など、先の細いものでスイッチを引き上げます。
3. スwitchの設定を行なった後、PCに接続してください。
4. 各設定が反映されます。



注意
・故障の原因になりますので、必ず接続ポートからキーボードを取り外した状態でDIPスイッチを操作してください。

【Windows10,11】キーボードの配列設定変更

キーの印字通りに入力できない場合は、OS側でキーボードの配列設定変更が必要です。

- 例)日本語配列キーボードを接続したのに、Shift+2を入力した際、「@」ではなく「#」が入力されてしまう → OS側のハードウェアキーボード設定が、「英語配列キーボード」になっている
- 英語配列キーボードを接続したのに、Shift+2を入力した際、「@」ではなく「#」が入力されてしまう → OS側のハードウェアキーボード設定が、「日本語配列キーボード」になっている

※Windowsプラグアンドプレイなどが要因となり、OS側の設定が勝手に変更されてしまう場合があります。その際は、下記の方法で設定変更を行ってください。設定変更には、**管理者権限でサインイン**されている必要があります。予めご確認ください。

■変更方法

1. 左下のWindowsアイコンをタップ(キーボードのスタート「Windows」キーを押す)または画面の右端をスワイプし、アクションセンターを立ち上げます。「設定」のアイコン(歯車アイコン)をタップし、Windowsの「設定」を立ち上げます。
2. 「時刻と言語」をタップします。

Window10の場合

3. 「地域と言語」をタップします。
4. 「言語」の「日本語」をタップし、「オプション」をタップします。
5. 「ハードウェアキーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタップします。
6. 使用するのが日本語JIS配列キーボードで、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「日本語キーボード(106/109キーボード)」である必要があります。レイアウトの設定が「英語キーボード(101/102キーボード)」になっている場合は、「日本語キーボード(106/109キーボード)」に変更し、サインアウトします。使用するのが日本語JIS配列キーボードで、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「英語キーボード(101/102キーボード)」に変更し、サインアウトします。

Window11の場合

3. 「言語と地域」をタップします。
4. 「言語」の「日本語」の右端の「…」アイコンをタップし、「言語のオプション」をタップします。
5. キーボード欄の「キーボードレイアウト」の右端の「レイアウトを変更する」をタップします。
6. 使用するのが日本語JIS配列キーボードで、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「日本語キーボード(106/109キーボード)」である必要があります。レイアウトの設定が「英語キーボード(101/102キーボード)」になっている場合は、「日本語キーボード(106/109キーボード)」に変更し、サインアウトします。使用するのが日本語JIS配列キーボードで、印字通りに入力したい場合は、レイアウトの設定が「英語キーボード(101/102キーボード)」に変更し、サインアウトします。

DIPスイッチの設定②

SWNo.	変更されるキー位置	OFF(初期設定)	ON
SW1	左Ctrlキー	左Ctrlキー	CapsLockキー
	CapsLockキー	CapsLockキー	左Ctrlキー
SW2	左Altキー	左Altキー	左Windowsキー
	左Windowsキー	左Windowsキー	左Altキー
SW3	左Windowsキー	左Windowsキー	Fnキー
	Fnキー	Fnキー	左Windowsキー
SW4	カタカナひらがなキー(日本語配列)	右ALTキー(英語配列)	右ALTキー(英語配列)
	右ALTキー(英語配列)	カタカナひらがなキー(日本語配列)	Fnキー
	Fnキー	Fnキー	カタカナひらがなキー(日本語配列) 右ALTキー(英語配列)

※SW2とSW3が同時ONの状態では、SW2が優先されます。(SW3は効きません。)
SW3とSW4が同時ONの状態では、SW4が優先されます。(SW3は効きません。)

ポイント
Fnキーの位置が遠い場合は、背面のDIPスイッチ4番を利用して、カタカナ・ひらがなキー(日本語配列)または右Altキー(英語配列)とFnキーの位置を入れ替えて使用することができます。(P13のDIPスイッチの設定をご参照ください)

- キーキャップの交換について
DIPスイッチによるキー位置変更に合わせて、幾つかの交換用キーキャップを付属しています。キーキャップを交換する際は、必ず付属のキーキャップ引き抜き工具を使用してください。また、過度な力を加えますと、スイッチ部分の故障や破損、基板の破損を招く恐れがあります。抜き取る際は、垂直方向にまっすぐ、慎重に引き抜いてください。交換後使用しなくなったキーキャップは、大切に保管してください。

注意
・キーキャップ交換による、キーキャップ、キースイッチ及び本体の破損は保証対象外です。
・キーキャップを紛失した場合、有償であってもご提供できない場合があります。

■その他、トラブルシューティングや製品に関するFAQに関しては、下記のページで公開しておりますので、ご参照ください。

<https://archisite.co.jp/support/faqkeyboard/>